

2019年 感染症事例のリスクアセスメント研修会
—新興感染症・マス・ギャザリングから日常のリスクまで—

本研修会は公衆衛生従事者が良好な感染症危機管理を実践する一助として、国際保健規則(IHR)の考え方も踏まえ、実地の感染症事例に対する疫学的視点に基づく分析、リスクアセスメントの方法について学ぶことを目的とし、学会総会時に開催するものです。

本年度の研修会では、近年話題となっているエボラ出血熱、MERSなどの新興感染症から大規模イベント(マス・ギャザリング)における感染症予防対策、そして、比較的身近な感染症(例:麻疹)への対応まで、様々な事例を用いた具体的な演習を行うことにより、日常業務において感染症危機事例を迅速に検出・評価し、最終的には的確な対応を実施することができる能力の獲得を目標とします。奮ってご参加ください。

なお、本研修会は修了書を発行し、日本公衆衛生学会認定専門家制度のクレジット(20点)を提供します。

また、本研修会は社会医学系専門医協会「社会医学系分野に関連する講習の受講」のクレジット(4単位)の対象研修会となっております。

日 時 : 10月25日(金) 12時30分~16時00分

会 場 : 高知新聞放送会館

〒780-8666 高知県高知市本町3-2-15

内 容 : 感染症事例のリスクアセスメント

- 趣旨説明(前田秀雄/日本公衆衛生学会感染症対策委員長/東京都北区保健所)
- 基調講演「感染症危機管理のためのリスクマネジメントの考え方」
(押谷仁/東北大学大学院医学系研究科微生物学分野)
- ワークショップのためのオリエンテーション
(中島一敏/大東文化大学スポーツ・健康科学部健康科学科)
- ワークショップ「リスクアセスメントを学ぶ」(グループ討議・発表)

対 象 者 : 第78回学会総会参加者(医師・保健師・食品衛生監視員等の公衆衛生従事者、感染症医療関係者、大学等の研究者等)

定 員 : 70名程度 : なお、多職種で効果的に演習を行うために、職種別に定員を調整させて頂く場合があります。

参 加 費 : 2,000円(資料代含む)

申込方法 : 研修会に参加をご希望される方は、裏面の申込用紙に必要事項を記載の上、下記問合せ先宛てにFAXにて、または本学会ホームページに掲載しているWordファイルをご利用頂きEメールにてお申し込みください。

備 考 : 多くの方にご参加いただけるよう、受講確定後にやむを得ずご欠席されることになった場合は必ずご連絡ください。なお無断欠席が続く方は、以降お申し込みをお断りさせて頂くことがございますのでご了承ください。

必 切 : 9月6日(金) 必着

主 催 : 一般社団法人日本公衆衛生学会 感染症対策委員会

共 催 : 一般社団法人日本公衆衛生学会 専門職・教育生涯学習委員会

[詳細・最新情報はホームページでご確認ください。]

問合せ先 : 一般社団法人日本公衆衛生学会 事務局

TEL 03-3352-4338 FAX 03-3352-4333 E-mail phgakkai@jpha.or.jp

FAX 03-3352-4333

Email phgakkai@jpha.or.jp

一般社団法人日本公衆衛生学会感染症対策委員会主催
感染症事例のリスクアセスメント研修会

参加申込書

【申請者】

ふりがな ()

氏名 _____ 会員No _____

所属機関 _____ 部署 _____

職種 _____ (医師・歯科医師・保健師等) 役職 _____ (課長・講師・助教等)

連絡先住所 〒 _____

(勤務先・自宅) どちらかに○をつけてください。

Tel. _____ Fax. _____

E-mail _____ @ _____

参加費用 2,000 円 (資料代を含む)

(交通費、宿泊費等は別途自己負担です。)

受講が決定しましたら、振替用紙を送付しますので、参加費用をお振込下さい。

入金を確認次第、受講通知をお送りいたします。

いただいた参加費用はお返しできませんので、ご承知下さい。

この度は当研修会にお申し込みいただきまして有り難うございました。